

# 提出議案と 審議結果

(議案第1号)

## 令和元年度日高市一般会計 補正予算(第9号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ6千269万円を追加し、補正後の総額を、それぞれ193億2千463万3千円とし、また、高麗川駅東地区整備事業、幹線市道整備事業、生活道路整備事業、橋りょう整備事業、河川・水路整備事業、公民館維持管理事業及び災害復旧事業において適正な事業期間を確保するため繰越明許費を追加し、総合福祉センターにおける指定管理者の更新を行うため債務負担行為を追加し、さらに、地方債の補正として、災害復旧事業の追加及び河川・水路整備事業の限度額の変更をしたいというものです。

「経営体育成条件整備事業補助金」を追加、繰入金について、今回の補正予算額の歳入歳出差引きの調整を行うため、財政調整基金からの繰入金を増額、市債について、河川・水路整備事業の財源として「河川債」を増額、災害復旧事業の財源として「公共土木災害復旧債」を追加したいというものです。

歳出については、総務費のうち、総務管理費では、総務費国・県支出金等返還事務で、平成30年度に収入した県議会議員選挙費委託金の実績に基づく精算により、返還金を追加、戸籍住民基本台帳費では、住民基本台帳事務で、国庫補助金を受け地方公共団体情報システム機構へ交付するための「通知カード・個人番号カード関連事務交付金」を増額、農林水産業費のうち、農業費では、被災農業者支援事業で、令和元年台風第19号により被災した農業用施設内の土砂等の撤去及び機械の修繕に係る費用の一部を補助するため、

「被災農業者支援事業費補助金」を追加、土木費のうち、道路橋りょう費では、橋りょう整備事業で、県が実施している別所橋架換工事における資機材の変更等に伴い、工事費に係る負担金を増額、河川費では、河川・水路整備事業で、国の緊急自然災害防止対策事業に大字高萩地内の旧小畔川及び29号水路の整備が該当したこと、から、工事に先駆けて実施する測量設計に係る費用を増額、災害復旧費のうち、公共土木施設災害復旧費では、災害復旧事業で、久保の下橋及び新堀橋の復旧工事に係る設計にあたり、新たに用地測量等を行う必要が生じたことから、「測量設計委託料」を増額、また、大字新堀地内の幹線82号及び大字高岡地内の市道A265号線の復旧工事を行うため、これらの復旧工事費を増額したいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第2号)

## 令和元年度日高市国民健康 保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に、それぞれ9千万円を追加し、補正後の総額を、それぞれ63億

1千221万6千円としたいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第3号)

## 令和元年度日高市武蔵高萩 駅北土地区画整理事業特別 会計補正予算(第3号)

適正な事業期間を確保するため、繰越明許費を設定したいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第4号)

## 令和元年度日高市下水道事 業会計補正予算(第3号)

資本的収入は、継続費の年割額の変更に伴う企業債の減額により、総額を7億5千959万1千円とし、資本的支出は、建設改良費の減額により、総額を11億4千702万5千円としたいというものです。資本的収入額が資本的支出額に對し不足する額は、3億8千743万4千円とし、その財源もあわせて補正したいというものです。

(全員賛成で原案可決)

(議案第5号)

## 令和2年度日高市一般会計 予算

歳入歳出予算の総額を、それぞれ187億1千万円としたい

というものです。

(賛成多数で原案可決)

## 討 論

議案第5号 反対討論

本予算案は、次のとおりであると考える。

総務費では、マイナポイント事業推進事務について、その費用対効果が低過ぎる。東京2020オリンピック関係事務について、聖火リレーに伴うイベント経費など約4千万円を市の財源で負担することは納得できない。戸籍事務について、マイナンバーと戸籍をひもづける経費が含まれており、個人のプライバシー侵害の観点から問題がある。

民生費では、地域交流ひろば設置促進事業について、平成27年度から「まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び子育て環境づくりの目玉事業とされてきたにもかかわらず、その総括がなく経費が削減されている。

全体では、会計年度任用職員制度により、これまでの臨時的任用職員を会計年度任用職員に移行するが、臨時的任用職員の数と比べて84人減少し、市の業務、市民サービス